

平成29年
1月1日

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

特別号
No.4

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

彩愛クラブ埼玉は、彩の国埼玉を愛する仲間が集い、
生きがいづくり・健康づくり・仲間づくり・地域づくりを実践して、
彩り豊かな、いきいきとしたよろこびの輪を広げています。

仲間づくりで支え合おう！

埼玉県老人クラブ連合会会長 高橋 義一

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、日ごろから老人クラブ活動につきまして、多大なご尽力をいただき、誠にありがたく御礼申し上げます。

現在、各市町村老人クラブ連合会においては、「新地域支援事業」に参画出来るよう多様な取り組みを実施しているところであります。老人クラブでは、地域の支援を必要とする会員・一般の高齢者を対象に声かけ、安否確認、話し相手等の友愛活動に取り組んできました。私たちの活動及び役割は、新地域支援事業に貢献できる活動であり、高齢者を主体とする介護予防と生活支援は、今後ますます期待されると思います。これからは、更に、多年にわたって培ってきた経験・知識を最大限に生かし社会の信頼と期待に応えるにふさわしい活動の推進に努めていきましょう。

この特別号には、「支え合いマップ」を2単位クラブで作成した内容を掲載しております。「支え合いマップ」は住民流福祉総合研究所の木原孝久先生に全国で初めて老人クラブの中で作成していただき、認知症の方や要介護者を受け入れたすばらしい事例を紹介することができました。木原先生のご協力に、厚く感謝を申し上げます。また、その他の単位クラブの中で、認知症の方や要介護者を受け入れた活動を実施しているクラブも掲載させていただきました。仲間づくりとお互いの支え合いが大変に貴重で、こういう活動を普及させ、継続しなければなりません。この広報誌発行にあたりましては、成田広報委員長はじめ、委員の方々には大変なご苦勞をおかけしました。改めて御礼申し上げます。

これからも、会員の皆様が積極的な活動を展開され健康で生きがいある生活がおくれるよう心より御祈念申し上げます。



新しい時代の幕開け

埼玉県知事 上田 清司

老人クラブ会員の皆様、明けましておめでとうございます。

圏央道の県内区間全線開通などにより、埼玉県の勢いには、ここ10年、目を見張るものがあります。

しかし、今後は急激な高齢化や生産年齢人口の減少による社会の活力の低下など、今まで経験したことのない局面を迎えます。

誰もが将来に希望を持ち、生き生きと活躍できる社会を築くため、知恵を絞り工夫をしなければなりません。

元気な高齢者が社会の担い手として活躍することを目指す「シニア革命」も本格化し、それを支える「健康長寿埼玉プロジェクト」も全県で展開しているところです。

女性の社会参画を進める「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」は全国に知られてきました。

さらに、「先端産業創造プロジェクト」も力強く進めています。

また、少子化対策にも力を入れて取り組みたいと思っています。

私は、今後も時代の本質を考え、その解決に向け全国をリードしていきたいと考えています。

今年もよろしくお祈りいたします。



支え合いマップで見えてきた老人クラブの未来

認知症の方も 仲間に加えよう 要介護になっても活動を続けよう



住民福祉総合研究所 代表 木原 孝久 氏
研究所ホームページ
<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~wakaru/>

東京生まれ。早稲田大学第一政治経済学部卒業後、中央共同募金会などを経てフリーに。一方で40年以上にわたり住民流の福祉のあり方を追い求め、その成果をセミナー開催や講演、マニュアル作成などを通じ、社会に広く伝えている。国の「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」等にも参画し、住民流の発想を提示。20年前、地域の実態把握の手段として「支え合いマップ」づくりを立案、その指導のため全国を駆け巡っている。最近では住民流福祉実現の具体策として「ご近所福祉」や「助けられ上手」「おつき合い革命」などの普及に力を入れている。講演、執筆、ラジオ・テレビ出演等。著書に、「支え合いマップづくり入門」「ご近所パワーで助け合い起こし」「住民流福祉の発見」「福祉の人間学入門」「ボランティア・セラピー」ほか。

介護保険制度の改正に伴い、老人クラブも新地域支援事業（介護予防、日常生活支援総合事業）に参画すべく、県全体で取り組みを始めています。その時私たちは、地域の要介護者などへの介護予防や生活支援に取り組まなければならないと考えます。それもいいのですが、足元にピッタリのテーマがあるのではないかと。

介護予防、生活支援と言っても、要はそういう人をクラブの仲間に加えたいことなのでしょう。仲間と一緒に楽しみ事をやれば、それが介護予防になるし、その人の困り事に応じてあげれば生活支援にもなります。

実際に要介護者を仲間に加えているクラブは、どうしてそれができるのか。私どもは住民の支え合いマップづくりに取り組んでいます。住宅地図に住民のふれあいや助け合いの実態を載せていくのです。今回はまず川口市の「さしまスローライフ」（鯨井寛正会長）のメンバーと一緒に作りました。「さしまスローライフ」のクラブの特徴は要介護者を積極的に受け入れていることで、老人ホームに会員募集のポスターを貼るぐらいなのです。

要介護者を受け入れるには、それを率先して実行する人が不可欠です。それがリーダーの鯨井寛正会長でした。このクラブは、地元の子ども会と繋がっていて、彼らがクラブのイベントなどの時に馳せ参じてくれます。

そういうこと以上に、会員全員が要介護の会員を受け入れる心の体制ができていると感じました。認知症の仲間は、例えば旅行に行っても、集合時間を守れないし、

「失踪」してしまうこともしばしばです。認知症なのだから仕方がないやと柔らかく受け止めるメンバーなのです。

では要介護の仲間はどのようにして近づいてくるのか。ポスターを見て入会してきた認知症の人もありますが、それ以外に、「正規のルート」もできていました。クラブに要介護者が送り込まれてくる元は、老人ホームであり、デイサービスセンターであり、ケアマネジャーであり、地域包括支援センターだったのです。

老人ホームに入所したけれど「何もすることがない」と嘆いている人を、担当者が「そちらのクラブに仲間入りさせてほしい」と言ってきたとか。ケアマネジャーが、関わっている在宅の要介護者を「クラブに入れてくれますか」と来ているとも。妻を介護中の男性からSOSが来て、夫婦でクラブに受け入れ、サポートをしているという話もマップづくりで出ました。

もう一つのマップづくりは、川越市の「旭町二丁目松寿会」（石川悦子会長）のクラブで、こちらはあとで詳細に紹介するように、要介護になった仲間をどうやら活動を続けられるのかに腐心していることがわかりました。元気な人たちが構成された老人クラブは、ともすると要介護者の仲間を切り捨てる傾向があるのですが、そうしないためには細やかな配慮が必要です。これをきちんと実行できれば、これもまた立派な福祉活動というべきです。

セレモニー 浦和ホール 2017年夏、新しい浦和ホールへ。

浦和ホール建替工事期間：2016年5月10日～2017年7月下旬（予定）



浦和ホール
建替後の
完成予想図

より快適に、
より最高のサービスを
目指して

ご葬儀は、あんしん・充実のセレモニーネットワークで対応いたします。



【浦和ホールリニューアル工事期間中のお問い合わせ、ご相談先】
ご葬儀相談フリーダイヤル ☎0120-41-1147 (365日24時間対応)
伊勢丹浦和店6階 セレモニー葬儀仏事相談コーナー ☎0120-41-1779
その他、各セレモニー直営葬祭場 www.sougi.info セレモニー で 検索



■県老連の2つの単位クラブで支え合いマップづくり

老人クラブと言えば、仲間でお楽しみをするグループとなっている。このほど埼玉県老人クラブ連合会と共同で、県内の2つの単位クラブを選んで支え合いマップづくりを実施した。川口市の差間地区の「さしまスローライフ」と川越市の旭地区の「旭町二丁目松寿会」。そこからクラブの新しい可能性が見えてきた。以下に、マップづくりから出てきた取り組み課題を整理してみた。

■認知症の方も仲間に。要介護でもお楽しみに参加。

マップ作りの結果から、これからの取り組み課題を以下に並べてみたが、いずれも今の老人クラブを越えていこうという意欲が感じられる。差間地区では、認知症の方を積極的に受け入れており、旭地区では、要介護になってもお楽しみ活動を続けられるような支援をしていた。

■要介護の仲間にサポーターを配置

認知症の仲間のピアノ演奏の助手役を務める人、要介護だから活動をやめるといふ人を「ただおしゃべりするだけでもいいじゃないか」と説得する人、というように、要介護の時代を乗り越えるための新しい人材が活躍しているのが印象的であった。

支え合いマップとは…

支え合いマップは、住民のふれあいや助け合いの実態を住宅地図にのせる作業。私たちが「顔が見える」範囲はおおよそ50世帯なので、この範囲ごとに数名の住民が集まってつくる。

老人クラブなら、①会員同士がどうおつき合い・助け合いをしているか、②最近やめた人、仲間に入りたい人は誰か、③要介護の仲間を誰が支援しているか、行事に誰が移送しているか、④会員以外の人にも関わっているか等を調べ、関係の線を引く。そこから今後の取り組み課題を抽出する。

川越市・川口市のマップ作りで出てきた 老人クラブの取り組み課題

(1) 要介護になってもお楽しみに参加し続けられるために

老人クラブに入ればお楽しみ活動ができるが、病弱や要介護になると身を引かざるを得ない。2つの地区のクラブでのマップづくりで、この課題に応えられるヒントが出てきた。

① 要介護の仲間をサークルに受け入れさせる説得役

「体が弱いので、やめたい」という人に、「おしゃべりするだけでもいい」と説得している人がいた。

② サークルごとに、要介護でも参加できる方法を考える

要介護でも参加を続けるためにどんな工夫をしたらいいか、知恵を出し合う。

③ 要介護者ごとに、参加し続けられる方法を考える

歌の会に入っていたが歌えなくなった。それでもおしゃべりするだけでもいいからと説得する。

④ 新たな活動を生み出し、要介護者でも参加できる選択肢を増やす

自分が参加できる活動はないが、個人でやっているお楽しみがあることが判った。その人を生かせば新しい活動が生まれる。

⑤ 消極的な家族を説得する

要介護になった人の参加を阻んでいるのが家族。「要介護だからやめなさい」と。これに対抗できる方策を考える。「我々が支えます」と説得するとか。

⑥ デイサービス利用者のサークル参加を積極的に

デイサービス利用と並行してクラブの活動にも参加している人がいた。以前やっていたことを再開できるように、一人ひとりの課題を見つけよう。

⑦ 仲間同士の移送サービスの充実

要介護で公民館等へ行けない人のために、移送サービス体制を作ろう。現に仲間を移送してあげている人もいる。

⑧ お楽しみ会の二次会を各所で

会場まで行けない人のため、地区内の各所で二次会ができないか。誰かの自宅で開くとか。

⑨ 要介護の方に「お楽しみサポーター」を配置。

要介護になってもお楽しみができるためにサポーターを張り付ける。認知症の方がピアノ演奏を楽しむのを、メンバーがサポートしていた。

(2) 「楽しみ合い」から「助け合い」、そして「福祉推進」へ

要介護化や超高齢化などで地域の実情は深刻化している。お楽しみ活動だけでなく、仲間同士の助け合い、そして地域全体の高齢者福祉の推進へと活動対象を広げていくことが求められている。

① 地区ごとにクラブ主導でご近所福祉推進チーム作り

老人クラブが地域福祉に取り組んでいることを、地域に認めさせるために、地区ごとに地域福祉推進チームを立ち上げる。

② まず会員同士の助け合い

まずは会員同士で助け合いをすすめていく。生活の困りごとへの対応をするチームを作るとか。できれば要介護者への生活サポートも。会員で家庭介護経験者や元看護師などがいるはずだ。

③ 会員以外の要介護者にも関わっていく。

老人クラブが福祉にも取り組んでいることを示すには、会員以外の要介護者にも関わるといふ姿勢や実践がなければならない。

④ 「認知症の方を受け入れるクラブ」を普及させる。

認知症の方を抵抗なく受け入れるクラブもあるが、これをクラブ全体に広げる。



【さしまスローライフ】のマップづくり



【旭町二丁目松寿会】のマップづくり

生活支援の事例 (認知症の方や要介護者を受け入れた活動)

みやざくら 宮桜会 (春日部市)

笑顔の団結！誘い合いで心豊かに！

宮桜会会長の山崎勇四郎(85歳)氏は、53年の歴史がある伝統のクラブ会長に、6年前に就任されました。山崎会長は、平成11年に埼玉県老人クラブ連合会主催の埼玉県老人クラブ健康づくり大学に入学し、広報紙作成を学び、その経験を生かし、機関紙「みやざくら」を発行。活動に参加できない人に、必ず広報紙を届け、会の運営のため、何事にも積極的に取り組んでおります。

○役員構成

会長1名、副会長3名

○部会構成

カラオケ部、コーラス部、旅行部、ゲートボール部、グラウンド・ゴルフ部、舞踊部、俳句部

○会員数

75名(男性18名、女性57名)

○活動内容

年1回、春日部市中央公民館で町会とタイアップした「芸能の集い」



コーラス部の活動

を行っております。市長のあいさつがあり約350人が集い、5時間ほどのすばらしい発表があり、会員外の方、身体の不自由な方、ひきこもりの方をみんなで連れ出し、大結集の大会となっております。世代間交流では、育成会と町会と連携し、グラウンド・ゴルフを子供達に教え、大人と共に楽しんでいます。



大結集の「芸能の集い」

○会員増強運動

会長就任時に、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ部会を立ち上げ、30人の会員増となりました。広報紙を活用して、内外にアピール。春日部市いきいきクラブ連合会の中で、会員数はトップを狙えるクラブに成長。

○これからどんな活動をしていきたいですか。

現在、友愛活動やサロン活動も活発に運営され、会員、一般高齢者、認知症の方と共に楽しんでおります。既存の事業を継続し、拡大していきたい。

おぎまちやだんち 扇町屋団地はなみずき会 (入間市)

地域の達人を発掘・仲間を引き寄せる楽しいサロン



「扇町屋団地はなみずき会」の場所は、西武池袋線の入間市駅から徒歩で15分。会長の中敷領郁代(76歳)さんは、35年間も民生児童委員を務めており、会員数は27名(男子6名、女子21名)ですが、他に賛助会員が20名以上。

地域開放型「ひまわりサロン」を2年前より開設しています。きっかけは、市の介護予防の「健康づくり教室講座」終了後も、「どこか集まれる居場所が欲しい」との声があり、サロンづくりを決意しました。

●サロンの開設

サロンづくりは、地域包括支援センターの協力や、団地管理組合の理解とスタッフとして前自治会長や民生児童委員も参加、協働で立ち上げることができました。サロンは月1回(第4月曜日)午前10時～午後1時迄。参加者は毎回40人前後です。



●サロンの内容

①体操 ②歌 ③絵 ④各種レクリエーション ⑤昼の食事会 ⑥その他

●地域の達人を発掘して講師に活用

- ①体操の先生は、民生児童委員で剣道の有段者、武術の心得を活かして、体操と踊りの指導。
- ②歌の先生は、地元で人気の講師です。サロンの真摯な活動に共感されて協力。
- ③レクリエーションの先生は、地域包括支援センターの担当者です。
- ④絵の先生は、プロの画家で、老人クラブの会員です。
- ⑤軽食づくり担当は、老人クラブの会員達です。参加者でもあり事業の支援者でもあります。200円で作る料理のメニューを作成したり、工夫したり、労力を惜しまずやっています。料理は会館の台所が狭いので、5人の会員が分担して自宅で作って持ち寄り、会館で1つのナベに入れて味を調整しています。

●サロンの成功の秘訣を中敷領郁代会長に伺いました。

「行政、社会福祉協議会、自治会、民生児童委員、地域の達人、老人クラブ会員『みんなが仲間』という一体感をもってやっていること。そして何事も前向きに考えて、明るく楽しく集える居場所づくりをめざしています。」

●これから中敷領郁代会長がやりたいこと

「扇町屋団地はなみずき会は、地域4自治会の統合した老人クラブです。今まで通り皆で協力し、(会員が常時全員参加で行動)楽しくやってゆけば、いつか大輪の花が咲くと思っています。」と話しておりました。

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

① 傷害保険 総合型

② 傷害保険 活動型

自分がケガをしてしまった時の保険です。

対象：老人クラブ会員なら、年齢制限もなく誰でも加入できます。(1人1口加入)

補償範囲：総合型と活動型の2種類

掛金：(総合型) お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円
(活動型) お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

お支払いする保険金：死亡・後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ) / 入院保険金 / 手術保険金 / 通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

中途加入 所属の老人クラブを通して、1年中いつでも加入いただけます。

傷害保険 加入者特典
 デイリーサポート ● 介護関連サービス ⇒ 介護保険制度、ケアプラン等の介護全般に関する相談
 電話相談 ● 生活支援関連サービス ⇒ 法律、税務、社会保険、暮らしのご相談
*相談先の電話番号は「寛書メモ」(旧:加入者カード)に記載されています。

クラブの全会員加入が条件です。

③ 老人クラブ活動専用 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。

補償範囲：○老人クラブ活動中の対人・対物(損壊)の損害賠償(自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外)
 ○管理下財物の盗難・紛失等
 ○初期対応費用・訴訟対応費用特約:支払限度額500万円(1事故)付帯
但し、往復路上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

掛金：クラブの全会員数×100円【申込クラブの全会員数が30名未満の場合は、最低引受保険料3,000円を払込みください。】

支払限度額：1億円 ※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。

保険期間：毎年10月1日(午後4時)～翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償責任専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。
 加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

中途加入 「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」は可能です。

・「新規加入クラブ」:毎月15日までに掛金の払込みで翌月1日からの加入となります。
 但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。
 ・「会員追加加入」:届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

加入申込書等、
資料請求先

◆ 最寄りの市町村老人クラブ連合会に常備しています。
 ◆ 不足の場合は市町村老連を通じて右記までご請求ください。

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先 03-3597-8770

受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休)

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険のご案内/パンフレット」「概要・ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。詳細は、保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によります。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769 (引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

16-T14038 平成28年4月作成

生活支援の事例 (認知症の方や要介護者を受け入れた活動)

えびぬま 海老沼おもと会 (さいたま市見沼区)

ダンチのひろば 気楽に集うサロン活動

東新井団地は昭和55年4月に開設されました。老人クラブも団地と同時に、敬老会や夏祭りなどの実行部隊としてスタート。現在の会員は、男女73名。男女比は6対4。山路孝会長(77歳)、副会長、幹事、監査の8名が役員として仲間を引っ張っています。サロン活動は、8年前に気楽に「集う場が欲しい」との声から、老人クラブが主体となり自治会、地域包括支援センター、民生児童委員などの支援を受けて、スタートしました。

活動を紹介します。毎月第一火曜日10時から12時。団地内の集会所。誰でも参加できます。要介護者も誘い合って集います。参加費は100円。参加条件 ①マイコップ持参。②準備・後片付けは参加者で実施。③禁止事項(人に迷惑を掛けない。賭け事禁止。カラオケ。政治・宗教・営業およびそれらの事項)となっています。

カラオケ禁止の理由をお聞きしたところ、趣味の活動で「カラオケ」があるので、そちらの活動支援のためとか。



私たちが訪問した時は次の様な雰囲気でした。参加者20名。包括支援センター2名、民生児童委員、近隣の特別養護老人ホーム諏訪の苑職員。

開会の挨拶。ちょっとしたお話し(今回はノロウィルス)、手遊び歌、ハーモニカの伴奏付で「静かな湖畔」「ふるさと」など楽しく唄いました。その後はフリータイム。これが楽しそう。4人が集まりジャラジャラと麻雀を始めるグループ。お茶とお菓子でおしゃべりのグループ。このひと時を求めて集って来ることが良くわかりました。12時を目途に参加者が後片付けして解散。

その後、山路会長にいろいろお話をお聞きしました。参加者からは、開催回数の増、時間延長など建設的な要望が出てきている。

「海老沼おもと会」としては、第二グループで運営が立ち上がることに期待している。今の形を強化すると運営スタッフの負担が重くなるので。毎月の開催案内にも魅力あり。民生児童委員から、絵手紙とちょっとした言葉を添えて、地域に暮らす75歳以上の住人に各戸配布されます。さりげなく開催日も案内しています。通算で70通を越えたとか。絵手紙だけでも楽しい記録になります。サロン「ダンチのひろば」は、運営側・参加側が無理なく気軽にやっているのが印象的です。サロン活動を始めるにあたり大変参考になると思います。



ねごやちゅうじゅ 根古屋長寿会 (横瀬町)

会員と行政一体の活動を展開

和気あいの武甲サロン

平成28年11月14日午前9時40分、武甲山が岩肌を見せる、横瀬町根古屋三区公会堂では、長寿会員が椅子を並べたり、演目を板書したり、別室ではおむすびをつくる、果物を盛りつけるなどの割り当ての仕事を行っていた。

名付けて長寿会の集まりを「武甲サロン」。10時、始まった。加藤定男会長のあいさつに続いて、新井初夫氏の脳トレーニング、健康体操が行われる。

いよいよ、今日の本番、ポカールグループ「アコルデ」のコンサート。①りんごの歌→東京の花売り娘→東京ググウギと戦後の12曲、②ふるさと→春の小川→おぼろ月夜と故郷の歌11曲、アンコール「夕焼け小焼け」と80分を堪能。そしておむすびをほおばり午後1時前、散会。

会員の「もちあじ」を生かした活動

取材日当日の武甲サロンだが、進行が淀みなく行われていた。そこ



には、加藤会長(79歳、平成25年就任)の人柄もさることながら、新井氏の実践に根差した脳トレや健康体操。また教職の経験を持ち、女性会員をまとめる市川登志子副会長など、豊かな人材の存在に気づかされた。

行政や地域の支援

今でこそ、活発に活動している根古屋長寿会だが、当初は地域の女性たちの「おしゃべり会」だった。活動が10年あまり続く中で高齢者の活動に理解をもつ行政の担当者の指導で、老人クラブとして活動するようになったとのこと。さらに「花いっぱい運動」などの活動を回覧板で呼びかけるなど、長寿会の活動は地域をあげてのものになっている。

輪を広げる今後の活動

現在会員は、男性7名、女性26名の33名だが、当面50名を目標にしている。さらに、活動の内容も、南京玉すだれ、紙芝居などを取り上げてきたが、会員の希望を活かしたものにしていきたい。

また、ますます高齢化の進む中での独り暮らしの方、社会的弱者といわれる方々も、花いっぱい運動など地域活動に迎え入れていきたい。



「あんしんの料金」で評判のセレモニー葬祭場

セレモニー 蕨ホール

JR京浜東北線「蕨駅」西口より
錦町二丁目バス停徒歩1分

グランドオープン

庭園式場に家族葬専用式場、充実のご葬儀施設が誕生いたしました。
是非ご来館いただき、蕨ホールの最新設備をご覧ください。



2F 清潔な海を背景にした「水庭園式場」



1F 家族葬専用式場



2F お清め室



無料 事前相談・事前見積

あらゆる形式のご葬儀に誠心誠意対応いたします。経験豊富なセレモニースタッフに安心してご相談ください。

安心してお任せいただけます。
ご家族専属の葬祭ディレクター

ご葬儀のお打ち合わせ・当日の運営はご家族専属の葬祭ディレクターがお手伝いいたします。

あんしんと信頼のセレモニーへお電話ください。

セレモニー 蕨ホール
0120-76-7000

蕨市錦町2-1-1 国道17号 蕨市役所入口交差点

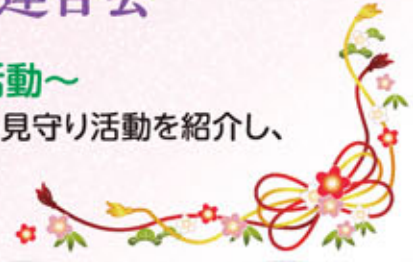


新春座談会

座談会内容

地域の安全と安心につながる活動について～地域の支え合い(見守り・友愛)活動～

埼玉県老人クラブ連合会が推進している友愛活動と埼玉県民生委員・児童委員協議会が行う見守り活動を紹介し、埼玉県警察本部と関連する地域の安全と安心につながる活動への連携の強化を図る座談会です。



県老連会長
高橋義一氏



県老連理事
新藤享弘氏



県老連副会長
広報委員長
成田準之助氏



県警生活安全部長
警視正
宮谷定雄氏



県民児協会長
奥富孝一氏



県民児協副会長
大谷富夫氏



県民児協理事兼
男女共同参画推進部会長
下田ナカ氏

成田広報委員長(県老連)：新年あけましておめでとうございます。これより平成29年、新春座談会を開催いたします。はじめに、埼玉県老人クラブ連合会の高橋会長からお願いいたします。

高橋会長(県老連)：皆様、新年のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回の新春座談会の開催につきましては、埼玉県警察本部生活安全部長様のご理解とご協力を賜り、また埼玉県民生委員・児童委員協議会の会長様を始め関係者の皆様にお集まりいただきました。本日は、それぞれ分野で行われている地域の安全につながる活動について知っていただき、それぞれが協力し合うことで、より一層充実した成果がえられる実りある一年となりますことを目的とした、座談会と致したく、よろしくをお願いいたします。

成田広報委員長：では、まずは我々の生活の根幹である地域の安全と安心について、平成28年を振り返り宮谷生活安全部長にお伺いします。

宮谷生安部長(県警)：皆様、あけましておめでとうございます。警察本部生活安全部長の宮谷です。皆様方には、昨年中、警察活動の各般に渡り、ご理解とご協力を賜りました。この場をお借りして御礼申し上げます。特に振り込め詐欺被害防止活動では、民生委員・児童委員の皆様と警察官等による高齢者方への訪問活動の際に被害を防止するための啓発活動を積極的に推進していただき、また老人クラブの皆様には、各種キャンペーンや研修会の開催へのご協力など、誠にありがとうございます。さて、県内の治安情勢ですが、警察に届けられた刑法犯の認知件数は、平成17年以降、連続して減少しており、昨年11月末現在ま

- 埼玉県警察本部
- 埼玉県民生委員・児童委員協議会
- 埼玉県老人クラブ連合会

での数値ではありますが、6万3,969件と前年対比-3,436件、率にして5.1パーセント減少しているところでございます。しかしながら、ひたくりや車上ねらいなど一部の犯罪が増加しているほか、高齢者を対象とした振り込め詐欺など特殊詐欺被害は、昨年11月末現在、認知件数が887件、被害金額が約18億9千6百万円で、前年と比べて減少はしておりますが、依然として高止まりの傾向で推移しているところであります。交通事故につきましては、11月末現在で137人の方の尊い命が失われており、このうち半数以上(78名)が65歳以上の高齢者の方でありました。

成田広報委員長：安全と安心は、生活の礎です。高齢者を守る活動では、老人クラブや民生委員・児童委員の活動も行っております。民生委員・児童委員の活動について奥富会長、ご案内ください。

奥富会長(県民児協)：民生委員・児童委員は、民生委員法及び児童福祉法に基づき、厚生労働大臣及び県知事から委嘱された無報酬の公的ボランティアです。

埼玉県内に約10,000人の民生委員・児童委員及び主任児童委員が各市町村に配置され活動しております。身分は、非常勤特別職の地方公務員で任期は3年間です。民生委員・児童委員は担当する地域に暮らす身近な相談相手として地域住民からの生活上の心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じています。そして、その課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になります。また、地域の見守り役として定期的な訪問などを通じて、高齢者や障がい者世帯、子供たちの見守りを行っております。一人暮らしの高齢者は、多くの不安を抱えており、私たちの訪問活動を待ち望んでいる方が大勢います。訪問するお宅の中には、老

「自然に還る」という、新しいテーマのエンディング

海洋散骨

海が好きだった。自然をこよなく愛していた。自由な人だった。個人を尊重する、そのひとつの形式が「海洋散骨」です。セレモニーの海洋散骨では故人様・ご遺族様のご要望に応えるために、心をこめてお手伝いをいたします。

最新の設備と専門のスタッフが安心と安全でお応えします。



代行による散骨から、ご親戚一同で故人様を送る感動のプランまで



散骨代行プラン 90,000円(+消費税)

- 粉骨料込み
- 乗船及び日時指定はできません
- 散骨式の様子を撮影してお渡しいたします
- 司式者が同行いたします(希望者のみ撮影します、司式者の家泊はお返しいたできません)



プライベートプラン 150,000円(+消費税)

- 粉骨料込み
- 2名様まで乗船できます
- 当社指定日時からの選択が可能です
- 他のご遺族も乗船する合同葬となります



家族プラン 310,000円(+消費税)

- 粉骨料込み
- 6名様まで乗船できます
- 他のご遺族も乗船する合同葬となります
- 当社指定日時からの選択が可能です(指定日時以外の乗船は、オプションとなります)

航行の安全確保のため、天候などにより出航を見合わせ、散骨日を延期させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

これからのご葬儀は「くらべて選ぶ」時代です。

セレモニー

事前見積
ご相談
無料

0120-41-1147

海洋散骨 で 検索 www.kaiyosankotsu.com



人クラブ連合会の会員も多数おりますが、全ての高齢者の方々が健やかに生活していただくことを目標に取り組んでおります。また、平成20年度から、民生委員・児童委員による交通事故防止防犯等に係る高齢者世帯訪問等運動（お達者訪問大作戦）を埼玉県と本会が協定を結び、県内の高齢者宅等を訪問し、交通事故防止、防犯及び悪質商法による被害の防止を呼びかける運動を毎年実施しています。

民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「済世顧問制度」に始まり、本年、平成29年に制度創設100周年を迎えます。

下田理事（県民児協）：民生委員・児童委員は、多くの女性委員が活躍しており、この見守り活動でも、女性目線で生活の困りごとや、不安の解消に努めております。

特に女性の一人暮らし高齢者の方などで訪問を拒む方などありますが、女性委員による訪問で受け入れてもらえるなど、工夫しております。

また、私の地元の蓮田市では、住民とボランティアの仲間づくりの場として「ふれあい・いきいきサロン」を行っております。公民館などで開催するサロンでは、健康や悪質商法に関する問題、防犯などのテーマに沿って講師を招き勉強会を開き、交流を深めるとともに、自宅に引きこもるのではなく、皆でワイワイ楽しい時間を共有する機会を作って活動の輪を広げております。

成田広報委員長：次に老人クラブの友愛活動について、新藤理事からご案内ください。

新藤理事（県老連）：老人クラブは、地域を基盤とする高齢者自身の自主的な活動組織であり、「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を基本に、長年にわたり地域で助け合い、支え合いの活動を行ってきました。この三大運動の中でも、特に、地域の支援を必要とする会員、一般の高齢者を対象に友愛活動（見守り、声かけ、安否確認、高齢者の閉じこもり防止、交流サロン、ごみ出し、外出支援等）に力を入れてきました。この活動を通じて、老人クラブは、地域に貢献し、関係機関と連携し、老人クラブの活性化につながってきました。

平成27年度の介護保険制度改正により、要支援高齢者への介護サービスは、市町村ごとに独自の「新地域支援事業」として実施することになり、老人クラブが介護予防・生活支援の担い手となるために「友愛活動」は極めて重要な活動です。埼玉県老人クラブ連合会では、県全体で改めて、友愛活動の取り組みを強化し、新地域支援事業への参画を目指しています。

大谷副会長（県民児協）：それぞれ違う団体が、同じような目的をもって、見守り活動や友愛活動といった、高齢者の支援を行っておりますが、この重層的な活動によって、支援が必要な高齢者の助けになっているのではないかと思います。

お元気なら、外に出られる。外に出るために楽しい施策を組む。高齢者に自分で行動する力をつけてもらい、元気になるための活動の中に、地域の安心・安全を見守る活動があると思います。この取り組みが、自分の健康年齢のアップにつながる活動になっています。

宮谷生安部長：見守り活動や友愛活動の際に、振り込め詐欺被害への注意喚起を行っていただいた結果、昨年より大幅に被害を減少できました。

今回の懇談でお話を伺って、老人クラブの皆さんも民生委員・児童委員協議会の皆さんも向かう方向性は同じで、より一層の活躍



を期待しております。

皆様の団体が幾重にも行う高齢者支援活動は、警察におきましても非常に心強く感じており、治安の一翼を担っていただいているとの思いです。

成田広報委員長：この地域の安全と安心につながる活動について、今後の抱負をお伝え下さい。

高橋会長：友愛活動を通じて多くの仲間の輪が広がることで、老人クラブに参加したいという方も増加し、会員の増強にもつながっております。また、支援を必要としている高齢者の方々は、私たちの活動を待っています。

高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えてきたものであります。今後も、民生委員・児童委員の見守り活動とも協力し、高齢者の暮らしの安全と安心に取り組む一年としていきたい。

奥富会長：高齢者の大きな心配の一つとして、健康面があります。昨日まで元気だったのに、急に認知症を発症したり、または命に関わる病気を発症したりなど、場合によっては警察の方のお力をお借りする場合がありますが、そんなケースを防ぐため、今後も家庭訪問や電話での連絡などによって生活の確認を行っていきます。

地道な活動ですが、我々は地域に配置されている民間の奉仕者となって社会福祉の増進に努めております。引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

宮谷生安部長：なにより、本日お越しの両団体が、お互いに協力して地域のためにご尽力をつくしていることで、高齢者のみならず地域の方々の暮らしの安全にも寄与していただいております。今年も元氣な活動をご期待しております。

警察としても、犯罪の発生や交通事故など、生活を脅かす事件・事故の発生を予防し、県民の皆様に、心から安全で安心した暮らしが届けられるよう全力を尽くしてまいります。

成田広報委員長：本日は、貴重なお時間をありがとうございました。皆様にとって実りある一年となりますことをご祈念いたしまして、新春座談会を終えさせていただきます。

編集後記

この特別号は4回目の発行となります。今回は「新地域支援事業」参画をテーマにし、住民福祉総合研究所 木原孝久先生にお願いし、全国の老人クラブで初めてとなる支え合いマップを2単位クラブで作成していただきました。木原先生のご協力に厚く感謝申し上げます。

また、認知症の方や要介護を受け入れた単位クラブを4事例と生活支援事例として市町村老連2事例のすばらしい活動を紹介させていただきました。新春座談会では地域の支え合い（見守り・友愛）活動をテーマに、県警、県民児協、県老連で連携の強化を図る座談会を開催しました。この特別号を参考に、新地域支援事業に積極的に取り組んで頂きますようお願い申し上げます。本年も株式会社セレモニーの本社より多額のご協賛を賜り、ありがとうございました。株式会社セレモニー社長志賀司様には深く感謝の意を表します。 広報委員長 成田準之助

もしものときに備えて…
安心の無料「事前相談」「事前見積」をおすすめいたします。

▶あらゆる形式のご葬儀に 誠心誠意 対応いたします。

一般葬 社葬 家族葬 火葬式

館内見学も受付中
事前相談サロン 開設中
施行経験が豊富なセレモニースタッフが安心してご相談ください

埼玉県内・都内300ヵ所以上の斎場・寺院とのネットワーク。ご要望の地域・場所でご葬儀が執り行えます。

セレモニーイメージキャラクター 風間 杜夫

これからの葬儀は「くらべて選ぶ」時代です®

セレモニー 24時間365日対応 安心料金 届出代行

0120-41-1147 ホームページアドレス <http://www.sougi.info>

2017年夏オープン JR「浦和駅」西口徒歩 3分 浦和ホール 0120-41-1147	「道祖土入口」バス停徒歩 1分 駒場ホール 0120-41-1147	JR「北浦和駅」東口徒歩 6分 北浦和ホール 0120-07-8000	JR「中浦和駅」東口徒歩 3分 中浦和ホール 0120-41-1147
JR「中浦和駅」東口徒歩 6分 別所ホール 0120-32-8000	JR「武蔵浦和駅」東口徒歩 5分 武蔵浦和ホール 0120-10-0080	JR「与野駅」西口徒歩 1分 与野ホール 0120-27-8825	JR「大宮駅」東口徒歩 6分 大宮ホール 0120-25-6411
JR「指扇駅」南口徒歩 8分 コスミック大宮 0120-01-5439	ニューシタム「鉄道博物館」徒歩 8分 大成ホール 0120-75-4488	武蔵野パークライン「有馬駅」東口徒歩 7分 岩槻ホール 0120-46-0700	JR「京浜東北線」西口徒歩 7分 川口ホール 0120-70-1145
JR「京浜東北線」西口徒歩 7分 西川口ホール 0120-33-6111	JR「東浦和駅」徒歩 8分 新橋ホール 0120-83-1900	JR高崎線「上尾駅」東口徒歩 8分 上尾ホール 0120-20-2002	「越谷市立図書館」バス徒歩 2分 越谷ホール 0120-71-1145
「錦町2丁目」バス停徒歩 1分 殿ホール 0120-76-7000	新大宮「ライオン」徒歩 1分 越谷東口ホール 0120-45-8000	東武線「春日部駅」西口徒歩 7分 春日部ホール 0120-11-3000	西武池袋線「狭山ヶ丘駅」東口徒歩 1分 狭山ヶ丘ホール 0120-63-5000

生活支援の事例 (地域づくり推進活動)

さいたま市老人クラブ連合会(さいたまシニアクラブ)

友愛活動でシニアクラブの活性化

さいたまシニアクラブでは、平成26年度から南区が県老連の友愛活動モデル指定を受けた。これを皮切りに大宮区、中央区もモデル指定を受け、友愛活動の推進を積極的に行っている。友愛活動は、老人クラブの3大活動の一つであり、共助の観点から地域社会を支えるうえで重要な活動だと考えている。

さいたまシニアクラブは今大きな転換期を迎えている。現在、会員数が年々減少しており、このままでは衰退の道を辿ってしまう。何とか



か会員数の減少に歯止めをかけ、魅力的なシニアクラブになれる手段の一つとして、友愛活動の推進が必要だと考えた。今までは、グラウンド・ゴルフ大会や芸能大会等の単発型の事業がほとんどであ

り、地域に密着した事業はあまり行ってこなかった。友愛活動をさいたまシニアクラブの主要な事業と位置付け、見守り活動や安否確認等の地域密着型の活動である友愛活動を展開することにより会員数も増加できるのではないかと考えた。

これを踏まえ、さいたまシニアクラブは平成28年度から友愛活動部会を設立し、メンバーには、各区シニアクラブの代表の他に前期高齢者と後期高齢者を1名ずつ加え、前期高齢者の発想と行動力、後期高齢者の経験と知識、これらが二者一体となって協力し、友愛活動の推進に取り組んでいる。目標として、全単位クラブで友愛活動を実施することを掲げているが、現在の状況はまだ半分である。まだまだ道半ばだが、全単位クラブが実施できるように推進し、魅力的なさいたまシニアクラブになっていけるよう取り組んでいきたい。



春日部市いきいきクラブ連合会

会員以外に輪を広げる活動

現在、春日部市いきいきクラブ連合会は、58の単位クラブ、2,511人の会員を擁しています。そして、それぞれのクラブと会員が、様々な地域にかかわりながら活動をしています。

そんな中、春日部市では、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていける地域づくりの推進に向けて、生活支援活動を実践する様々な団体等の参画により、地域の課題について情報共有・連携強化の場



を設けるため、昨年からは、生活支援体制を推進するための第一層協議体である「かすかべ支え合い会議」を開催しています。

当連合会も、支えられる側でなく、地域の担い手の一員として、この「かすか

べ支え合い会議」にメンバーとして参加しています。

とはいえ、いきなり、「さあ、地域のみなを支えよう、何か新しいことを始めよう」と気負って参加しているわけではありません。

今までも、当連合会は、友愛活動や三世代交流事業、健康づくりいきいき運動研修会(平成27年度は参加者889人、うち320人が会員外)、市からの委託で実施している、地域の一人暮らしなどの高齢者に定期的に声掛けする「高齢者安心見守り事業」などを行っており、すでに地域や地域の高齢者を支える側の一員として活動してきていると考えています。

今後は、現在の事業を継続しつつも、「自分たちにはどんなことができるのか、何が求められているのか」ということを考えながら、無理なく自然体で活動していければと考えています。



大好評! 日帰りバスツアー 第13弾

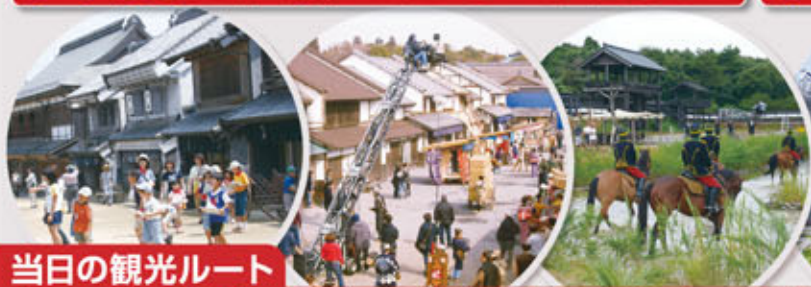
江戸情緒を訪れる

成田山と江戸見学ツアー

NHK大河ドラマセット「ワープステーション江戸」見学ツアー

出発日 平成29年4月6日(木)・13日(木)

第1班 6日(木) 浦和・川口・春日部・越谷地区 第2班 13日(木) 大宮・所沢地区



当日の観光ルート

出発 埼玉県各地 → (首都高/東関東道) → 富里IC → 千葉県立「房総の村」見学 → 菜の花ロード → 成田山新勝寺前 → 米屋観光センター → 成田山新勝寺参拝・羊羹資料館 → ワープステーション江戸見学 → ビール工場見学試飲 → 埼玉県各地 到着 ※渋滞により行程が変わる場合があります。

ツアーお申し込み・お問合せ先 ※受付は1月8日(金)からの開始になります

ツアーリスト浦和 平日10:30~18:30 (火曜日定休日) ☎048-834-0077



株式会社セレモニー 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-4-13 ☎048-822-6446(代)

(旅行企画・実施)近畿日本ツーリスト㈱ 一般社団法人日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業1944号 東京都千代田区神田1-7-8

ホームページもご参照ください。 www.ceremony.jp